

漁港直送 みんなの魚市場 (仮)

◆実現できる未来

商流を持たない漁港で水揚げされた魚や、競りにかけられない・売れ残った魚などを、一般消費者（小規模飲食店含む）にサイト（アプリも含む）経由で販売。卸売業者・小売業者を介さないため、消費者は安く新鮮な魚を手に入れることができ、漁業者・漁協の収入もアップ。魚の廃棄量を減らすこともできる。

◆製品/サービスのアイデア

- ・本製品/サービスの販売先（☐BtoB ☐BtoC ☒その他）
☐一般消費者 ☐製造業（☐メーカー、☐加工、☐その他） ☐サービス業
☐情報通信業 ☐小売業 ☐飲食業
☒その他（一般消費者や飲食店へのサービス充実化につながるアイデア）

・製品/サービスの内容

- 実証実験も兼ねて下記2フェーズで行う



【データ蓄積期】

＜漁業者等の知見をデータとして蓄積しながら、サービス普及を目指す＞

- 漁業者・漁協が、水揚げされた魚の鮮度を推定。魚の写真（魚全体、目の部分）、鮮度情報（漁業者等の知見で判断）をサイトにアップロード。
- 一般消費者はその情報を参考にして魚を購入する。
- 魚の写真と鮮度情報がサーバー内に蓄積される。→AI学習に使用。

【本格稼働期】＜魚の鮮度選定をAIで自動的に行い、サービスを本格稼働させる＞

- 商流を持たない漁港の販路拡大に寄与。
- 消費者は安く新鮮な魚を手に入れることができ、漁業者・漁協の収入もアップ。
- 競りにかけられない・売れ残った魚の廃棄量を減らすことができる。

◆自由記述欄

・製造・販売までの課題

- ☐設備 ☐技術 ☐素材・材料 ☒その他 ☐特になし
(課題の詳細)

- 本シーズ実用化に向けてデータの蓄積が必要であり、漁業者・漁協などの協力は必須。さらに卸売業者の協力を得られるとなおよい。
- サイト・アプリ制作はソフトウェア制作会社に依頼。

・その他

- 【データ蓄積期】には、漁業者・漁協の鮮度判断が用いられることから シーズ企業においてもデータと知見が蓄積され、AI学習が進むメリットがある。
- データ蓄積期に漁業者等は市場を吟味し、本格稼働の有無を検討することが可能。

※シーズ集では紫外光・紫外線カメラと記載されているが、2024.9.20現在、可視光カメラにて動作確認済

◆活用するシーズ（開放特許）

パナソニック ホールディングス株式会社
『鮮魚推定』



（参考）本アイデアの実施者のイメージ、おすすめ業種 ※一例
漁業者、漁協、ソフトウェア制作会社

〔業種：☐製造業（☐メーカー、☐加工、☐その他） ☒サービス業
☒情報通信業 ☐小売業 ☒飲食業
☐その他（ ）〕

〔免責事項〕本資料に記載されているアイデア及び関連する情報について、その正確性や完全性、独創性及び新規性を保証するものではありません。技術的な制約や市場環境の変化等により、実現できない可能性があります。実現可能性については、ご自身の責任で調査・判断をお願いします。掲載された情報に基づいて行われた行為や発生した損害等について、近畿経済産業局、本事業事務局及びシーズ掲載者は一切責任を負いません。

〔管理元〕本資料は、シーズ掲載者の協力の下作成し、近畿経済産業局が管理しています。
問合せ・連絡先：近畿経済産業局 地域経済部 産業技術課 知的財産室 Tel:06-6966-6016

作成日：2024年10月

アイデア提供者： ☐シーズ掲載者 ☒近畿経済産業局